

【 写真 】



一席

彼岸好日
村木潤子



二席

赤い洗礼
齋藤圭子



三席

炎の響演
重盛よし美



回転焼肉一升びん賞

ギョ・ギョ！
北畠ひとみ



岡田文化財団賞

銀河の招き
田中清孝

【 写 真 】

[賞]	[題 名]	[名 前]	[住 所]
一 席	彼岸好日	村木潤子	松阪市豊原町
二 席	赤い洗礼	齋藤圭子	松阪市平成町
三 席	炎の響演	重盛よし美	松阪市平生町
回転焼肉一升びん賞	ギョ・ギョ！	北畠ひとみ	多気町土屋
岡田文化財団賞	銀河の招き	田中清孝	松阪市駅部田町
奨励賞	労る	川合恒市	多気町五桂
奨励賞	『2023ナニワ裏町劇場』	松本 修	松阪市泉町
奨励賞	熱き闘い	奥山育世	松阪市新町
奨励賞	ノスタルジー	大原行輝	松阪市下村町
奨励賞	力尽きて	戸川敦子	松阪市川井町
奨励賞	帰り道	中川里菜	松阪市魚見町
奨励賞	霊峰光彩	西川耕司	松阪市曲町
入 選	岩を抱く老樹	高岡 敏	松阪市虹が丘町
入 選	まつりのにおい	阿部道男	松阪市虹が丘町
入 選	夢をのせて	西岡ひとみ	松阪市垣鼻町
入 選	ハイビスカス2鉢→389輪	中西達明	松阪市大黒田町
入 選	チョーサヤ！！	高橋克己	松阪市曲町
入 選	トワイライトトレイン	廣瀬千名美	多気町東池上
入 選	参道	金谷 清	多気町朝柄
入 選	初雪樹林	山口淳子	松阪市高町
入 選	昭和レトロ	小笠原捷哉	大台町高奈
入 選	急ぎ足	大喜多貞行	大台町高奈
入 選	ビリケンちゃん	大川倍未	松阪市清生町
入 選	日本晴れ！東京駅	三好徹哉	松阪市東黒部町
入 選	浄土に咲く	安達忠明	松阪市立田町
入 選	蜜を求めて	伊藤千可	松阪市五反田町3丁目
入 選	昭和レトロ	前川悦雄	松阪市上川町
入 選	はばたき	松田輝子	松阪市船江町
入 選	病床	吉岡一巳	松阪市岡山町
入 選	夜空に散る	脇田猛志	多気町相可台
入 選	少女とうさぎ	寺田純子	松阪市嬉野島田町
入 選	隠岐の夕陽	竹本博志	松阪市駅部田町
入 選	立春の風物詩	遠中美知子	多気町西山
入 選	興味津津	鈴木聡子	大台町高奈
入 選	眼差し	萩原 伸	松阪市星合町
入 選	あらっ こんにちは	宮崎政明	松阪市久保町
入 選	漁港	加藤定美	松阪市嬉野中川町
入 選	平和への飛翔	遠井孝子	多気町平谷

[賞]	[題 名]	[名 前]	[住 所]
入選	香り漂う東藻琴山	宮崎秀翠	松阪市久保町
入選	宮入渡御	岡村節子	松阪市立野町
入選	一瞬のかがやき	綾野利勝	多気町仁田
入選	お兄ちゃんメダカいる	鈴木久司	多気町朝長
入選	水面のシンフォニー	出口美智子	明和町上野
入選	北前船廻船問屋の土蔵守	長谷香里	松阪市御殿山町
入選	愛宕川夕景	竹内 博	松阪市大口町
入選	驟雨の珍客	竹内貞子	松阪市大口町
入選	孫たちの竹のぼり	石川輝夫	松阪市伊勢寺町
入選	港夜景・コンピナート	乾 吉郎	明和町志貴
入選	魅せられて	小林孝章	松阪市中万町
入選	マネキンファンタジー	出口量造	松阪市朝日町一区
入選	湖畔の桜	松本 実	松阪市山添町
入選	涼を求めて	中川眞一	松阪市櫛田町
入選	興味津々	片岡喜久夫	松阪市小片野町
入選	懐かしき昭和時代	湊 恵一郎	松阪市桜町
入選	役目終え	西村則明	大台町粟生
入選	暑かったニャ～	高崎晴子	松阪市外五曲町
入選	再生	村田和人	松阪市五反田町五丁目
入選	浮遊	山本博之	松阪市殿町
入選	綿毛の花言葉	南 東一	松阪市市場庄町
入選	待つ	黒石真理子	松阪市虹が丘町
入選	夏の思い出	神戸一平	松阪市早馬瀬町
入選	商店街の本屋さん	奥田 均	松阪市豊原町
入選	入り日と影	笠野和彦	松阪市日丘町
入選	野をかける孫	堀端 脩	松阪市笹川町
入選	褪せていく夏の日	山下真奈美	松阪市石津町
入選	輝け！王冠富士	吉田 紘	松阪市大黒田町
入選	5月の放課後	森山浩明	松阪市小阿坂町
入選	ボクが映っている！！	上田倫代	松阪市駅部田町
入選	過酷なレース	海住幸松	松阪市嬉野中川町
入選	風のダンス	末永 薫	松阪市湊町

[賞]	[題 名]	[名 前]	[住 所]
招 待	三者三様	柴田ただしげ	松阪市高須町
招 待	夏宵	溝田幸輝	松阪市東久保町
招 待	高齢社会 (ポルトガル)	織戸千尋	松阪市山室町
招 待	春日傘	嶋岡恭司	松阪市中央町
招 待	二人の世界	梅川紀彦	松阪市新町
審査委員	浜の朝	野瀬みつ子	松阪市嬉野権現前町
審査委員	サーファー	石井 清	伊勢市小俣町本町
審査委員	少年	樋口幸雄	鈴鹿市南旭が丘

(順 不 同)

● 審 査 評

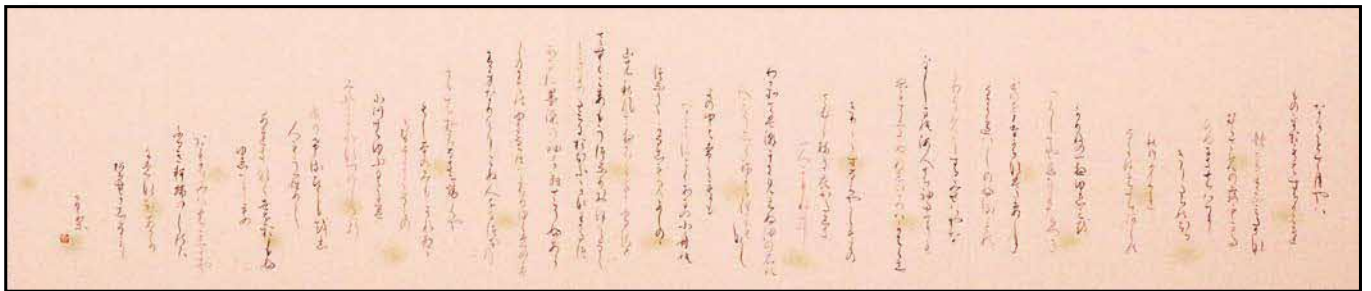
前回より応募点数が5点減になったことが残念ですが、作品内容はバラエティーに富み、見応えがあった。今後は、物語性のある作品にも挑戦してほしい。

【 書道 】

家住深山老寺長。碧蘿覆夏無人爭。
從時聽采樵歌。為向陽補袖衣。若月
清如陀高報。當途字得意。不古之句。
藤木麻里子

一席

良寛詩
藤木麻里子



二席

百人一首
川口けい子

塞虜乘秋平兵出漢家將軍分庫弁戰士卧龍沙邊月
 隨了影故霜拂劍在玉關殊未入少婦莫長嗟烽火
 動沙海連照甘泉雲漢皇抽劍在還君將軍兵氣
 丁上合鼓聲龍底聞橫り貫勇氣一戰靜妖氣

李白詩二首
 松阪皇輝

松阪皇輝かぐや賞

李白詩
 川村和代

李白詩二首
 松阪皇輝
 塞虜乘秋平兵出漢家將軍分庫弁戰士卧龍沙邊月
 隨了影故霜拂劍在玉關殊未入少婦莫長嗟烽火
 動沙海連照甘泉雲漢皇抽劍在還君將軍兵氣
 丁上合鼓聲龍底聞橫り貫勇氣一戰靜妖氣

三席

山頂
 仲井恵美

疎ら〜くも梅雨が霰降りん重なり〜灰色
 の雲を透かして太陽が銀座の角の
 時計の窓の硝子を射とほした

荻原心美
 五月の頌歌

岡田文化財団賞

五月の頌歌
 稲葉心美

敷寒絡緯風吹霰
 葉落梧桐雨打時

温都

まつさか未来賞

七言二句
 御手洗温都

【 書 道 】

[賞]	[題 名]	[名 前]	[住 所]
一 席	良寛詩	藤木麻里子	松阪市櫛田町
二 席	百人一首	川口けい子	松阪市郷津町
三 席	山頂	仲井恵美	松阪市飯高町田引
松阪皇輝かぐや賞	李白詩	川村和代	松阪市東黒部町
岡田文化財団賞	五月の頌歌	稲葉心美	松阪市田牧町
まつさか未来賞	七言二句	御手洗温都	松阪市南虹が丘町
奨励賞	儲光羲の詩	浅香晴美	松阪市高町
奨励賞	婦子慕の詩	北川享子	松阪市中道町
奨励賞	藤村晩秋の別離より	岡田知與子	松阪市桜町
奨励賞	万葉集	岡村秀子	松阪市日丘町
奨励賞	乗車戴笠	松村高子	松阪市久保田町
奨励賞	黄庭堅(臨)	島田幸美	松阪市鎌田町
入 選	伊州歌	吉川あづさ	明和町浜田
入 選	劉禹錫の詩	中川洋子	松阪市日丘町
入 選	陰鏗の詩	岡本悦子	松阪市日丘町
入 選	梁簡文帝詩	清野明子	松阪市下村町
入 選	魏靈藏薛法紹造像記	小山明子	松阪市下村町
入 選	八月の馬	出口由美子	松阪市小阿坂町
入 選	劉庭芝詩	野中典代	松阪市久保田町
入 選	李白詩	小西里奈	松阪市嬉野黒田町
入 選	張遷碑	北岡由巳子	松阪市嬉野黒田町
入 選	富士山	福田桂子	松阪市嬉野中川町
入 選	百人一首	古市明美	松阪市藤之木町
入 選	小倉百人一首	田口順子	松阪市大津町
入 選	小倉百人一首	宇野紫苑	松阪市虹が丘町
入 選	後撰和歌集	村井恒子	多気町土羽
入 選	百人一首	奥山明日風	多気町西山
入 選	范成大詩	福井幸恵	松阪市上川町
入 選	杜甫詩	鈴木千絵	松阪市茅原町
入 選	七字聯	小塩美樹	松阪市茅原町
入 選	耿漳詩	久保志帆	松阪市平成町
入 選	島崎藤村の詩	北出直子	松阪市垣鼻町
入 選	牧水の歌三首	長谷川直美	松阪市嬉野上野町
入 選	中也の詩	浅野梨乃	松阪市久保町
入 選	良寛の詩	鈴木広子	松阪市大黒田町
入 選	菜根譚	高橋みどり	松阪市駅部田町
入 選	古今和歌集	坂東 瞳	松阪市湊町
入 選	万葉集	川村憲子	松阪市東黒部町
入 選	三十六歌仙	宇野多恵子	松阪市高町
入 選	百人一首	木村麻理子	松阪市東黒部町

[賞]	[題 名]	[名 前]	[住 所]
入 選	鴨長明「伊勢記」の一節	山口加織	松阪市高町
入 選	赤壁之賦一節	前川和美	松阪市高町
入 選	王鐸臨	西口かおり	松阪市佐久米町
入 選	一期一会	竹本博志	松阪市駅部田町
入 選	須明鏡	横井益子	松阪市白粉町
入 選	楽似和神仁之	駒田甲多	松阪市大黒田町
入 選	鳳舞開雙翼	西田百花	松阪市小阿坂町
入 選	臨 蜀素帖	左手日香里	松阪市虹が丘町
入 選	争坐位文稿	林 涼吾	津市久居小野辺町
入 選	赤壁賦	松本実優	名張市すずらん台東2番町
入 選	杜甫詩	吉田瑞穂	伊勢市楠部町
入 選	魏霊蔵造像記	出口友香	松阪市豊原町
入 選	笑門来福	中川正平	松阪市末広町一丁目
入 選	佐千夫の歌	松井美季	松阪市殿町
入 選	石門頌(臨)	坂口幸穂	多気町丹生
入 選	沈周詩	山本幸代	松阪市飯南町深野
入 選	沈周詩	林 ひろ子	多気町西池上
入 選	王鐸臨	中川はるみ	松阪市中央町
入 選	蘇軾の詩	杉岡房子	松阪市曾原町
入 選	李太白仙詩卷	鈴木誠人	松阪市泉町
招 待	四字句(堅泳満池)	工藤俊朴	松阪市嬉野黒田町
招 待	中也の詩句	下平小波	松阪市下村町
招 待	白楽天草堂記より	佐久美泉涯	松阪市虹が丘町
招 待	陸游詩	中村翠雲	松阪市光町
招 待	博聞彊識	鬼頭翔雲	松阪市駅部田町
審査委員	松尾芭蕉の句	中村小汀	松阪市清生町
審査委員	登龍門	樋口鈴峰	鈴鹿市東旭が丘
審査委員	紅葉	山本雅月	四日市市東阿倉川

(順 不 同)

● 審 査 評

今展は昨年比して若干数の増であったが、IT化の波の中で増えたのは幸いである。漢字、仮名、調和体、篆刻と多彩な作品が出品され、本地の文化意識の高さを感じた。漢字においては、書体の違い、仮名の優雅、調和体の読みやすさ、篆刻の刀意等、各ジャンルにおいて魅力満載であった。文化は時代の歴史であり、現代の深層を表すものである。我々もますます研鑽し、感性を磨きたいものである。皆で頑張りましょう。